チームをアジャイルに！

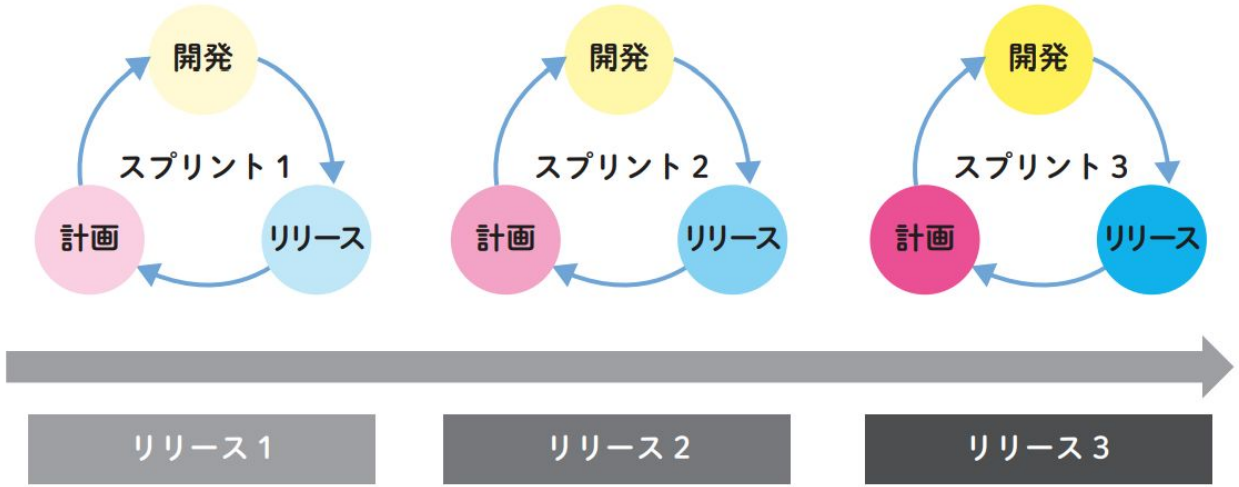
アジャイル入門書

Lychee Redmine 活用ガイド

01. アジャイル開発とは

アジャイル開発とは

動作する機能単位に開発して、なるべく早く小さいサイクルで繰り返し
リリースしていく手法です。



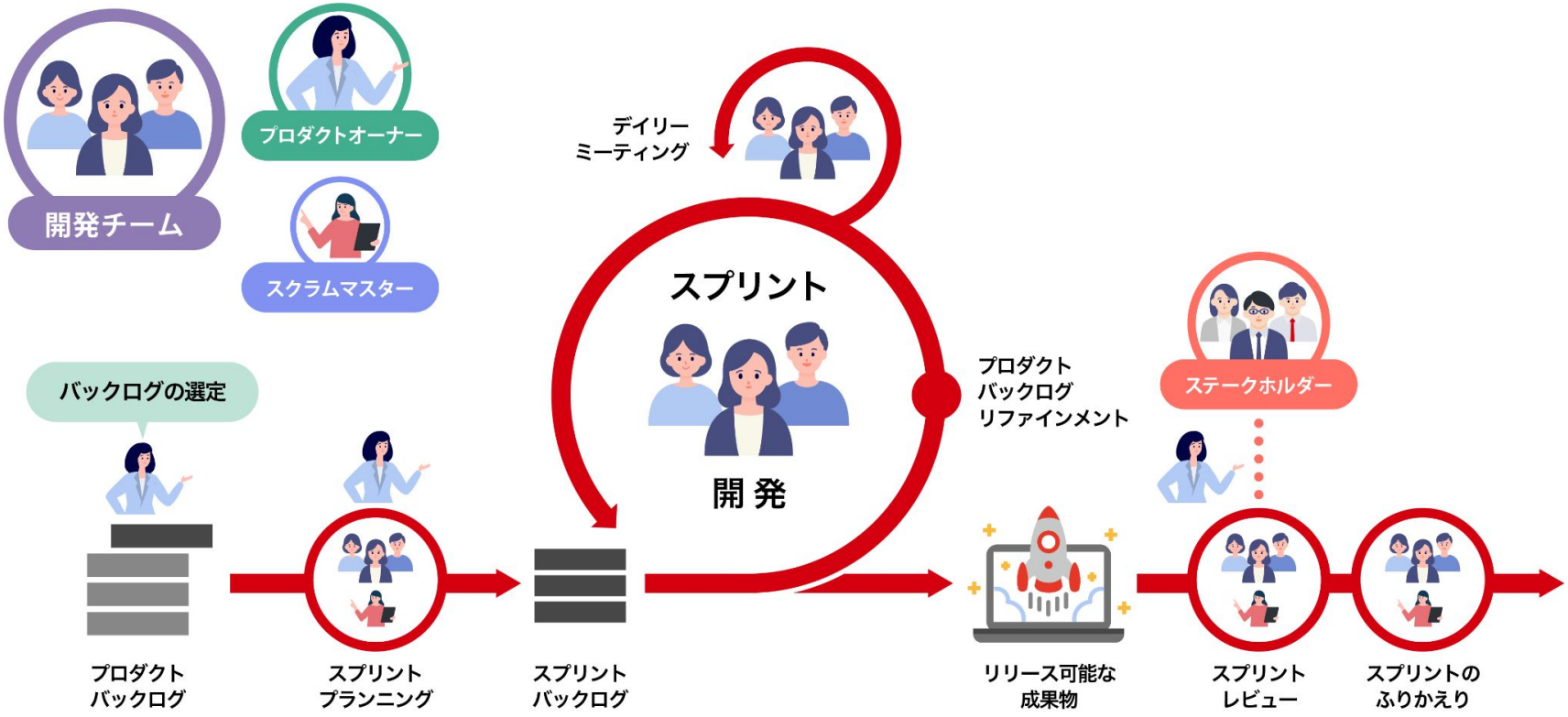
アジャイル開発のメリット

Lychee REDMINE

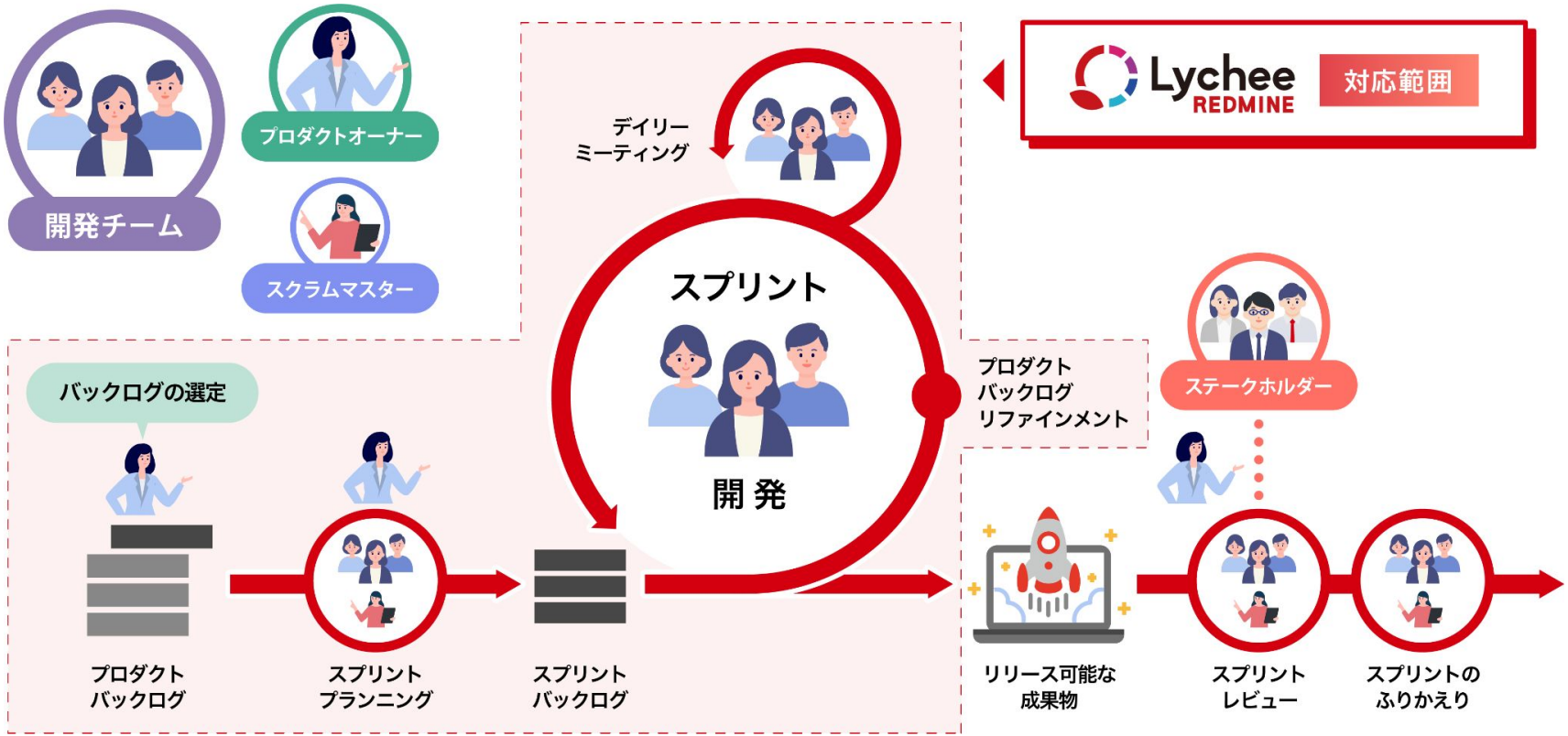
- 要件の変更に**柔軟に対応**する
- **迅速かつ継続的**なリリース
- **リスクを最小限**にできる
- 高い**顧客満足**

市況の変化に素早く適応することで、
顧客の競争力を高めビジネスを成功に導きます

スクラムによる流れ


開発チーム
プロダクトオーナー
スクラムマスター
デイリー
ミーティング
スプリント
開 発
バックログの選定
プロダクト
バックログ
リファインメント
ステークホルダー
プロダクト
バックログ
スプリント
プランニング
スプリント
バックログ
リリース可能な
成果物
スプリント
レビュー
スプリントの
ふりかえり

スクラムによる流れ　-Lychee Redmineの対応範囲 -

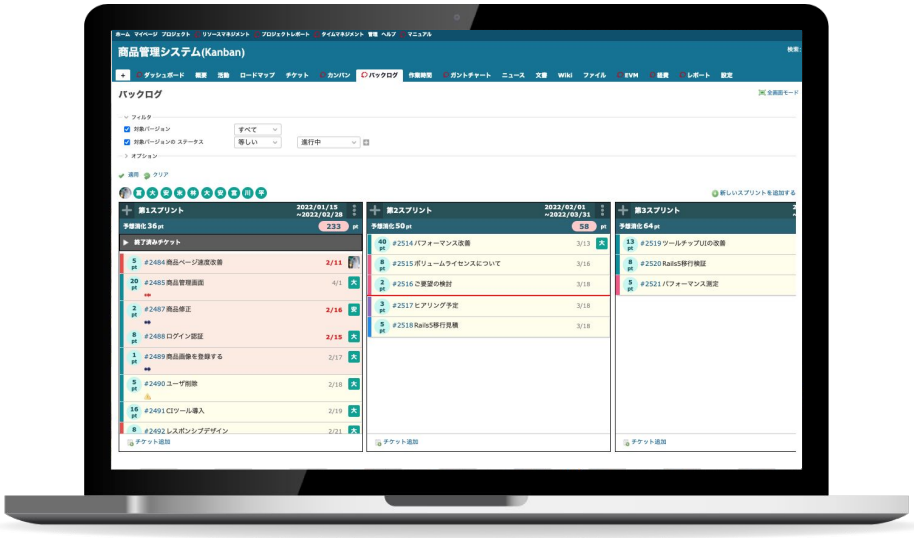


王道パターンをご紹介！

02. Lychee Redmineでアジャイル開発

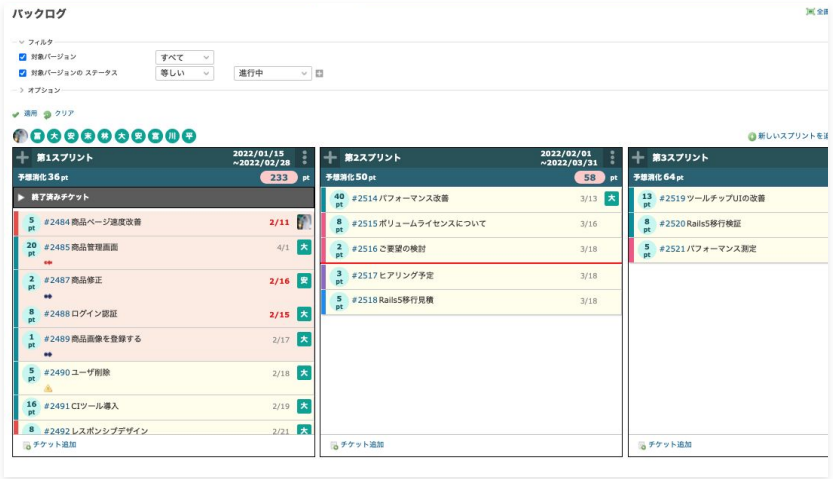
Lychee Redmineはアジャイル開発にも対応

これから**アジャイル開発を始めたい**方、
一部のプロジェクトでアジャイル開発を取り入れたい方も気軽にお試しいただけます。



Lychee Redmineのバックログ・カンバン機能を使用

全体の計画：バックログ



タスク管理：カンバン

アジャイル開発実践の流れ

00. スプリントの期間を設定

01. プロダクトバックログを定義

02. 規模感を見積もる

03. プロダクトバックログを分割

04. 作業に着手する

05. バーンダウンチャートの確認

Step0

スプリントの期間を設定

Lychee REDMINE

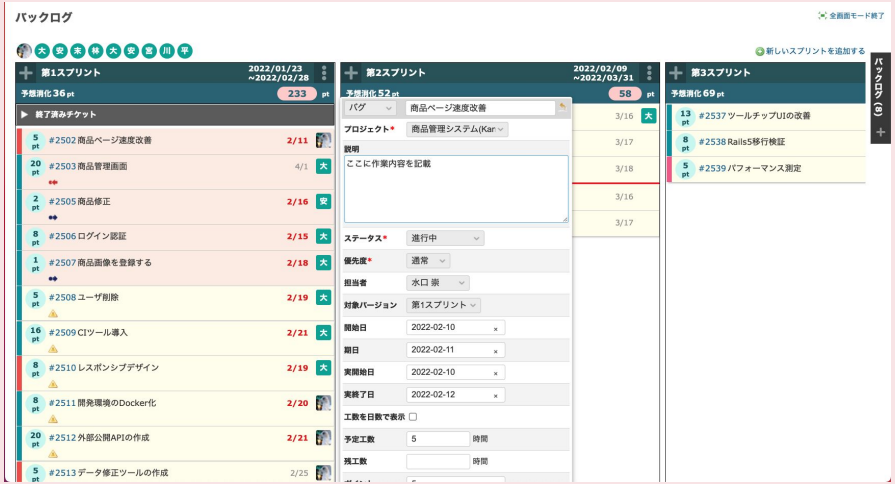
スプリントの期間を設定

最適なスプリントの長さは プロジェクトの難易度や要求変更の頻度 などから決まります。

世界的にメジャーなのは 2週間です。

Step1

プロダクトバックログを定義



Lychee REDMINE

プロダクトバックログアイテム (PBI)を定義

Lychee REDMINE

1. プロダクトバックログを定義
2. 規模感を見積もる
3. プロダクトバックログを分割
5. 作業に着手する
6. バーンダウンチャートの確認

プロダクトバックログアイテムを作成します。作業の詳細は説明欄に記入しましょう。

プロダクトバックログの優先順位付け

1. プロダクトバックログを定義
2. 規模感を見積もる
3. プロダクトバックログを分割
5. 作業に着手する
6. バーンダウンチャートの確認

優先順位：高

優先順位：低

優先順位の並び替えをします。
次回以降の対応で良いものや、優先順位が低いものは
右端に畳んであるバックログレーンに入れておきましょう。

ここからスプリントがスタートします

Step2

規模感を見積もる

Lychee REDMINE

ストーリーポイントによる規模感の見積もり

1. プロダクトバックログを定義
2. 規模感を見積もる
3. プロダクトバックログを分割
5. 作業に着手する
6. バーンダウンチャートの確認

チームで見積もったポイントを入力します。

今回のスプリントでどこまでやるかを決める

1. プロダクトバックログを定義
2. 規模感を見積もる
3. プロダクトバックログを分割
5. 作業に着手する
6. バーンダウンチャートの確認

終了したスプリントのベロシティを元に、次のスプリントでの予想（赤い線）が表示されます。
ベロシティを参考にしながら、今回のスプリントで実施するプロダクトバックログを決めます。

Step3

プロダクトバックログを分割

Lychee REDMINE

プロダクトバックログを分割

Lychee REDMINE

1. プロダクトバックログを定義
2. 規模感を見積もる
3. プロダクトバックログを分割
5. 作業に着手する
6. バーンダウンチャートの確認

作業にとりかかるときは、カンバンで作業を管理をします。
優先順別カンバンでプロダクトバックログを作業単位に分解しましょう。

サインアップをする

1 プロダクトバックログを定義
2 規模感を見積もる
3 プロダクトバックログを分割
5 作業に着手する
6 バーンダウンチャートの確認

アジャイル開発ではリーダーがタスクを「アサイン」するのではなく、
担当者自ら優先順位の高いタスクから「サインアップ」します。
必要であれば、各作業について予定工数を見積もります。

これで1つのスプリントの
計画は完了です

Step4

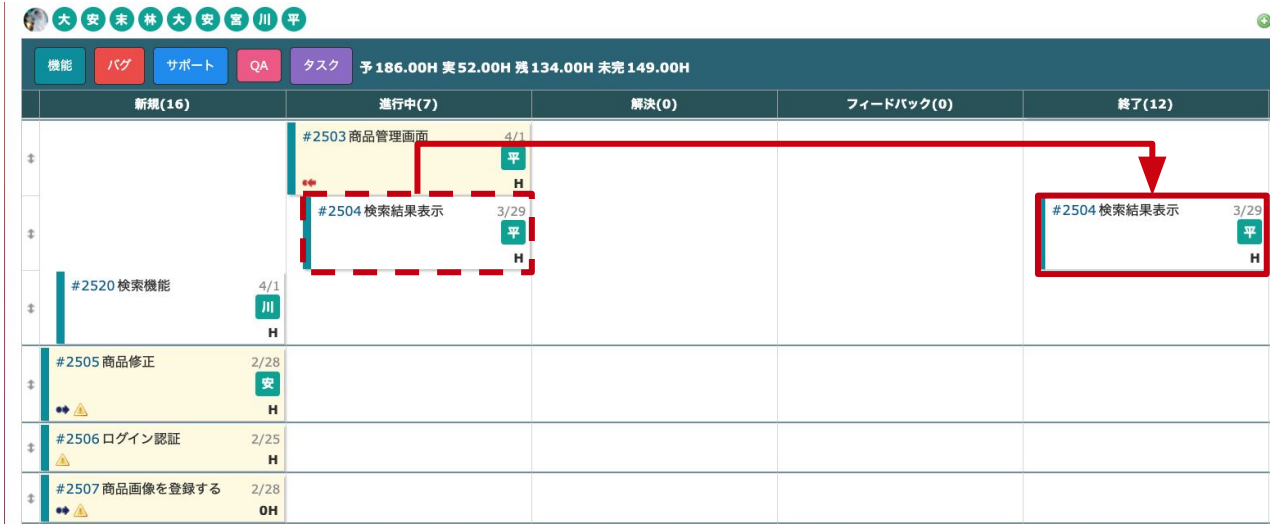
作業に着手する

Lychee REDMINE

作業に着手する

Lychee REDMINE

1. プロダクトバックログを定義
2. 規模感を見積もる
3. プロダクトバックログを分割
5. 作業に着手する
6. バーンダウンチャートの確認

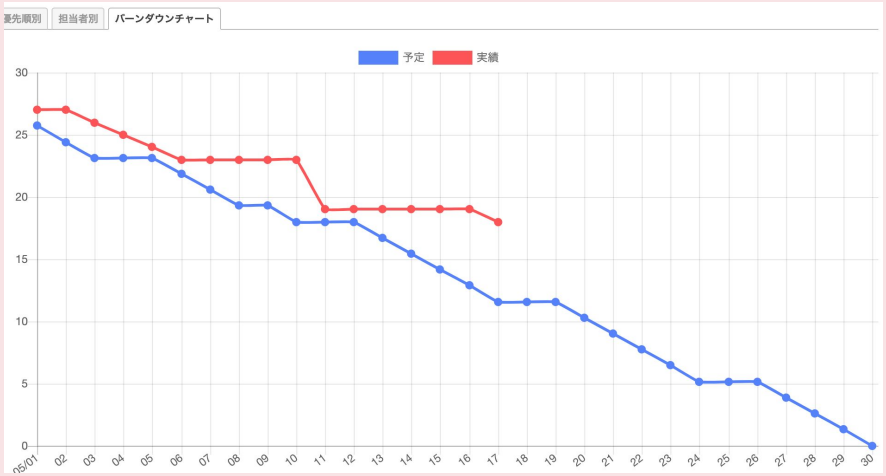


担当している作業が終わったら、進行中から終了に移動させます。
カンバンで管理することで、チーム内の作業状況を一覧で把握することができます。

Step5

進捗確認

バーンダウンチャートの確認

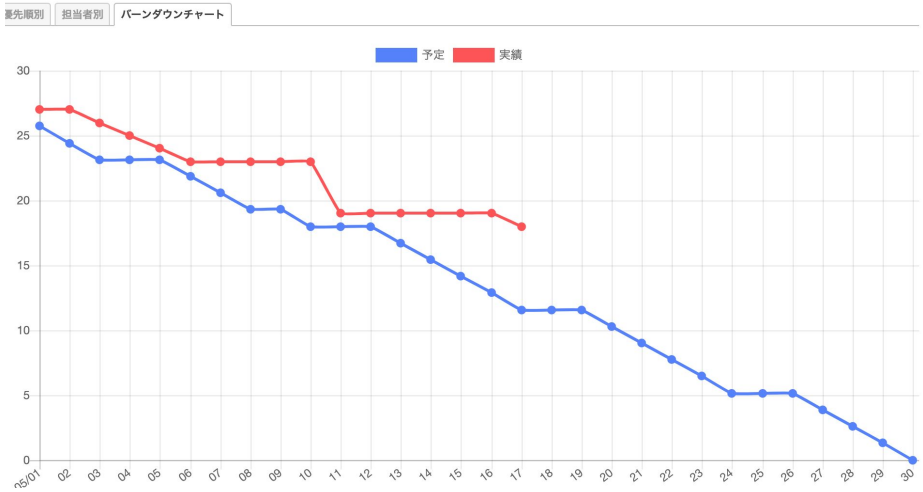


Lychee REDMINE

バーンダウンチャートの確認

Lychee REDMINE

1. プロダクトバックログを定義
2. 規模感を見積もる
3. プロダクトバックログを分割
5. 作業に着手する
6. バーンダウンチャートの確認



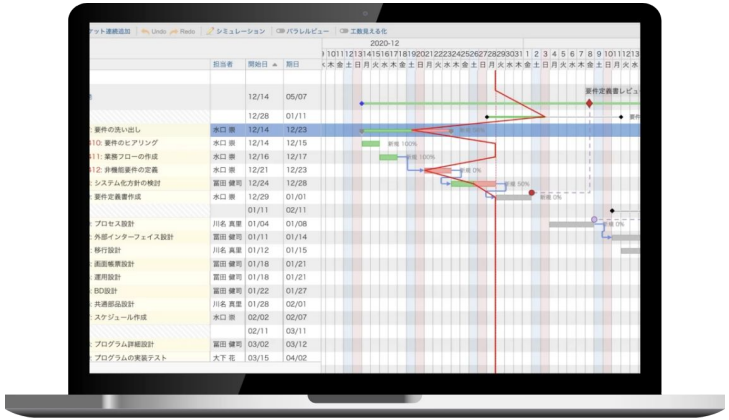
スプリントの進捗はデイリーミーティングでバーンダウンチャートを使って確認しましょう。
バーンダウンチャートの描画には、プロダクトバックログのポイント数または
作業の予定工数を利用できます。
チームはバージョンダウンチャートから問題が発生しているかどうかを把握できます。

これで一つのスプリントが終了しました。
ふりかえりで業務ワークフローを改善しながら
迅速かつ継続的なリリースをしましょう！

Lychee Redmineの概要

03. Lychee Redmineでできること

Lychee REDMINE とは？



多機能で使いやすい**ガントチャート**、**工数の見える化**と管理、

QCDの可視化や報告書作成に使える**レポート**、**EVM**、**CCPM**、

アジャイル開発に使える**カンバン＆バックログ**など豊富な機能が特徴。

大規模なプロジェクト管理から少人数のタスク管理まで

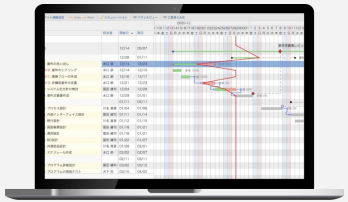
幅広く対応できる機能が揃っています。

ガントチャート　カンバン　リソースマネジメント　タイムマネジメント　EVM　プロジェクトレポート　コスト

プロジェクト管理をより本格的に行いたい企業様は、ぜひLychee Redmineをご利用くださいませ。
他のお役立ち資料も貴社のプロジェクト管理に貢献できれば幸いです。

最後までご覧いただき、ありがとうございました！

Lychee Redmine
30日間無料お試し



[無料体験版を今すぐ試す]

お役立ち資料

[お役立ち資料はこちら]

もっと詳しく

[Webサイトを見る]

株式会社アジャイルウェア

アジャイルウェアホームページ：https://agileware.jp/

LycheeRedmine導入のご相談：https://lychee-redmine.jp/contact/

お問い合わせ先：https://agileware.jp/contact/other-form/

Copyright © 2023 Agileware Inc. All Rights Reserved.